

フィリピンの水源地域における サトウキビ畑の有機農業への転換

〒450-0001
愛知県名古屋市中村区那古野
1-44-17 嶋田ビル3F
電話:050-5579-7651
E-mail:ikawako.mangrove@gmail.com
http://ikawako.com/



ひろげる助成

1年目

実践



農業組合メンバーとスタッフデモファームで

コーンポストの生産量 **3.6トン**

デモファームの面積 **25アール**

今年度計画の達成度 **100%**

活動の全体目標に対する達成度 **40%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

プロジェクトを始めるにあたって、農業組合のメンバーとの関係性の構築。メンバーが定着しないこと。

■ 工夫した点

イカオ・アコが以前から支援を行っているほかのグループと交流させることで、イカオ・アコへの信頼性を高めた。



課題

農地改革で水源地域の不利な立地にあるサトウキビ畑を割り当てられた小規模農家が、化学肥料を使ったサトウキビ栽培をしており、採算が取れていないこと。

目標

化学肥料や農薬を利用した収益性の低いサトウキビ栽培から、環境にやさしく収益性の高い有機農業に転換することで水源地域の環境を保全しつつ住民の生活が豊かになること。

活動内容と成果

アンケート調査により、現状の農薬の使用量を把握した。GOFA(ギンバラオン有機農業組合)のメンバーが毎週集まって、デモファームの整備、ナーサリー・コーンポスト小屋の建築、苗木・コーンポストの生産、デモファームの整

備を行った。実践を行いながら、有機農業の技術を移転した。デモファームで生産した野菜の一部を販売した。チームビルディング研修と、有機農業活動発表会というイベントを開催し、メンバー同士及びほかのグループとの親交を深めた。



堆肥づくりをしているところ

今後の展望

コーンポストの生産量が目標より少ないので、生産量を増やす努力をしたい。次年度は、各メンバーの土地の有機農業の面積を増やせるように指導していく。